

## 大規模自然災害に対する学校と教職員の役割 ~ 阪神淡路大震災の経験から ~ When a natural disaster occurs, how should school staff members roles?

数越 達也<sup>1\*</sup>

SUGOSHI, Tatsuya<sup>1\*</sup>

<sup>1</sup> 兵庫県立神戸高等学校

<sup>1</sup> Kobe high school

筆者は兵庫県の高校教員であり、1995年1月17日に発生した平成7年兵庫県南部地震（阪神淡路大震災）で勤務先および自宅が被災した経験をもつ。1995年4月に赴任した兵庫県立芦屋高校は1995年6月までおよそ5か月間避難所となり、また校舎が再建されて仮設校舎での授業が解消されるまで2年5か月の期間が必要であった。

大規模災害が発生した場合、学校は避難所となり、教職員は避難所の運営と授業の再開準備、そして生徒のこころのケアなどという多くの役割を担うことになる。阪神淡路大震災の経験を元に、平時からどのような防災計画を立て防災教育を実践すればよいか、阪神淡路大震災発生当時には学校と教職員はどのような状況であったのか報告する。

### 被害・避難状況

阪神淡路大震災では、兵庫県の公立学校において

園児児童の死亡者 295人（東日本大震災：岩手・宮城・福島では死者行方不明 858人）

教職員の死亡者 15人（東日本大震災、岩手・宮城・福島では死者行方不明 60人）

保護者家族を失った児童生徒 942人

被災した学校 1345校（県内の国公立私立学校の56%）

避難所となった学校 619校（県内の公立学校の35%）

学校への避難者 47495人（県内の避難者の60%）

と報告されている。(1)

### 災害時の教職員の役割は

a:生徒の安否確認

b:生徒の心のケア

c:避難所の運営

d:食料の支援

e:学校再開の準備

である。(2)

兵庫県南部地震は午前5時46分という早朝に発生したため、生徒は登校しておらず、地震発生時の避難誘導を教職員が行う機会はなかった。しかし、2011年3月11日の東北地方太平洋沖地震・津波の際には、多くの児童生徒が学校管理下にあり、不幸にして多くの死者行方不明者を出した学校もあった。日本海中部地震・津波（1983）で遠足中の小学生が流され、死者を出した教訓が生かされていないと感じるのは私だけだろうか。教職員が地域の自然災害について正しい認識を持たなくてはならない。

### 平時の教職員の役割は

a:防災教育指導計画の作成

b:開放施設の明確化と開放順位の設定

c:避難所の運営

d:防災避難訓練の立案と実施

である。(2)

筆者は1996年より12年間にわたって兵庫県立芦屋高校および県立須磨友が丘高校において、地学の授業や部活動などを通じて減災教育を行い防災意識の向上と生徒のこころのケアに役立ったと考えている。(3)(4)

また地震学会学校教育委員会と普及行事委員会では、児童生徒を対象とした「地震火山こどもサマースクール」を1999年より火山学会と共同して開催している。これは「脅し」ではなく「自然災害は自然の恵みと表裏一体」という自然観を育成するプログラムであり、筆者も企画・運営にかかわっている。2011年には地質学会も協力して第12回を会津磐梯山で行った。2012年には糸魚川をフィールドに開催する予定である。(5)

001-03

会場:303

時間:5月20日 14:45-15:15

#### まとめ

教職員には災害時に重要な役割がある。

- a:正しい自然観の育成
  - b:地域住民との協調体制の確立
  - c:避難所運営の覚悟
  - d:児童生徒や保護者の心のケア
  - e:後世へ災害を伝える努力
- である。

自然災害に強い市民社会の構築に向けて、学校と教職員の果たす役割は重要である。特に児童生徒の一生を左右するであろう「正しい自然観」を育成するという重要な役割を理科の教員は担っていることを知ってほしい。

#### 参考文献

- (1) 近畿学校保健学会 <http://www.kinki-sha.org/50th/omoi/3/1581.html>
- (2) 兵庫県教育委員会 震災・学校支援チーム ERATH ハンドブック
- (3) ”震災を語り継ぐ地学の授業～災害文化の伝承をめざして～” 理科教室 No56 (2001)
- (4) ”震災を語り継ぐ地学の授業を続けて?理科教育は防災につながるか?” 理科教室 No685 (2012)
- (5) 地震火山子どもサマースクール <http://www.kodomoss.jp/>

キーワード: 阪神淡路大震災, 防災体制, 防災教育

Keywords: Great Hanshin-Awaji earthquake, Disaster prevention education